



ワークショップシリーズ

ことばぽこぽこフィールドひとぼう

第1回



さわる、 そこからかんがえる

時計や非常食など、
ふだんは手にとって触れない震災当時のモノを、
みんなでしっかりさわってみます。
さわって感じたこと、おもったことを、
みんなでことばで共有します。

参加者募集!

日時: 2022年 **3月6日(日)** 13:30~15:00

会場: 人と防災未来センター 西館1F ガイダンスルーム1

参加無料・要事前申込・抽選

対象: 子供から大人まで、震災を経験された方もされていない方もどなたでも歓迎

募集人数: 8名



申し込み方法:

特設ウェブのフォーム <https://forms.gle/ZWUX8jDCTPQXzE8K8>
にアクセスし、必要情報を入力して送信ください。

受付: 2月26日(土)まで。

抽選結果は、当選された方に2月27日(日)にお知らせします。

お問い合わせ: cotofy117@gmail.com



申込フォーム

主催: 人と防災未来センター研究部・特定研究プロジェクト
「対話型ミュージアムをひらくワークショップ手法の開発」



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター



ワークショップシリーズ
ことばぼこぼこフィールドひとぼう
第1回

さわる、
そっからかんがえる
震災当時のモノに…



こどものおかし



中国からの?歯みがき粉



医薬品、救急用品など



シャンプーやせっけんなどの衛生用品



電気ヒーター

ひとぼうで、阪神・淡路大震災にいっしょにさわってみませんか?



地震の衝撃で止まった時計



インスタント食品などのたべもの



自衛隊の保存食



今回のプログラムでは、神戸市須磨区の鷹取中学校が避難所になった時に、実際に使われていたモノや紙(震災資料)にふれていただきます。このチラシに掲載した写真はその一部です。避難所の生活とはどのようなものだったのでしょうか…一緒に考えていきましょう。

「ひとぼう」が、ことばがぼこぼこ浮かんで、聞こえて、まじわるフィールドになります。

‘ことばぼこぼこフィールドひとぼう’について

人と防災未来センター=愛称:ひとぼうで、新しく始めた研究プロジェクト「対話型ミュージアムをひらくワークショップ手法の開発」では、「ことばぼこぼこフィールドひとぼう」のワークショップシリーズを行います。

震災や災害や生老病死のこと…誰もがそれぞれ、いろんな思いや体験や疑問をもっていることと思います。みんなのその問いを、ことばとからだをやわらかくして、みんなできぐつてゆきたいと思ひます。このプログラムは、そのきっかけをつくる実験場。ぜひ、みんなで一緒にしてください。

人と防災未来センター研究部 プロジェクト担当研究員: 高原耕平、正井佐知、林田怜菜



takahara



masai



hayashida